

保護者 各位

日進市教育委員会 教育長 岩田 憲二

## 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

本年度当初に、全国学力・学習状況調査が行われ、中学校3年生は、国語、数学、英語の学力調査と、児童生徒の学習意欲や生活習慣等についての質問紙による調査が行われました。その結果が文部科学省より公表されましたので、本校の概要を、日進市教育委員会がまとめた市全体のものとともにお知らせいたします。調査結果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

なお、この調査は学力の特定の一部を測るものであり、学力のすべてを測るものではないことをご理解ください。

## 1 日進市全体の概要

**中学校3年生** 国語、数学、英語の3教科全て、全国・愛知県の平均正答率より、やや高いという結果でした。

## 国語

【優れている点】

◎ 「話すこと・聞くこと」における「思考力・判断力・表現力等」に関わる問題の正答率が優れていました。

【課題となる点】

● 歴史的仮名遣い（例：いひける）を現代仮名遣いに直すなど、我が国の言語文化に関する事項について課題がみられました。

古文などの授業で、知識・技能を習得できるように学習を積み重ねていきます。

## 数学

【優れている点】

◎ 全ての領域における「知識・技能」に関わる問題の正答率が優れていました。

【課題となる点】

● 2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明することについて課題がみられました。

ある事柄の条件を変えた場合について考察する場面では、証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるように学習を充実させていきます。

## 英語

【優れている点】

◎ ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択するなど、情報を正確に聞き取る問題の正答率が優れていました。

【課題となる点】

● 学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、事実や自分の考えなどを整理し、それを説明するまとまりのある文章を英語で書くことについて課題がみられました。

読む目的に応じて要点を捉えた上で、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなどの言語活動をさらに充実させていきます。

## 質問紙

これまで同様、規則正しい生活をしている割合が高く、そのような生徒は、規範意識、学習意欲、自己肯定感も高い傾向が出ています。

また、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒、家で自ら計画を立てて勉強をする生徒、読書が好きな生徒、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒など、物事を前向きに捉えることができる生徒ほど、各教科の平均正答率が高い傾向があります。